



公益財団法人
埼玉県埋蔵文化財調査事業団

事業案内



沿革と組織

埼玉県埋蔵文化財調査事業団は、県内における埋蔵文化財の調査研究を行うとともに、埋蔵文化財の保護思想の啓発と普及を図り、もって本県文化の向上に寄与することを目的として昭和55年埼玉県の出資により設立されました。

埋蔵文化財の調査研究に基づいた発掘調査と整理・報告書の刊行事業を基に、その成果の活用と普及活動を様々な事業を通して行っています。

沿革

- 昭和55年4月 埼玉県の出資により財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団設立。
本部事務所を県パンビル(旧浦和市)内に置く。
- 昭和57年4月 本部事務所を大宮市櫛引町(現さいたま市)に移転。
- 平成元年10月 本部事務所を大里郡大里村(現熊谷市)に移転。
- 平成2年4月 埼玉県立埋蔵文化財センター設立に伴い、
事務所の所在地を同センター内に移転。
- 平成3年8月 大宮整理事務所を設置。(平成12年3月まで)
- 平成9年7月 第二収蔵庫が完成。
- 平成24年4月 公益財団法人に移行。

組織

総務部	総務課 企画課	評議会 理事会	評議員 5名 理事 9名 監事 2名
調査部	調査第一課(発掘調査) 調査第二課(発掘調査) 調査第三課(発掘調査)		
資料活用部	整理課(整理報告書刊行) 資料保存課(資料保存・普及活用) 資料活用課(資料整理・普及活用)		

発掘調査件数・報告書刊行数 (2013～2022年度)

発掘調査	89件
発掘調査報告書	75冊



事業団マスコット
「はーとん」「のっそりー」

事業の概要

土の中に眠る貴重な遺跡を開発の前に発掘調査を行い、図面や写真などの記録をまとめた報告書として保存しています。また、その成果を遺跡見学会や集客施設での展示会、そして学校への出前授業など、さまざまな形で活用しています。

発掘調査



遺跡の上の表土除去
▼
住居跡など遺構の確認
▼
掘削
▼
記録（図面・写真）

整理・報告書刊行



水洗・注記
▼
接合・復元
▼
実測・トレース
▲
編集・刊行

図面整理
▼
写真整理
▼
執筆

資料保存



金属製品	木製品
X線透過検査	洗浄
▼	▼
クリーニング	PEG含浸
▼	▼
合成樹脂含浸	真空凍結乾燥
▼	▼
接合・復元	接合・復元

資料活用・普及



遺跡見学会の開催
各種研修の受入れ
学校への出前授業
学習用キットの貸出し
展示会等の開催
収蔵施設の公開

発掘調査

開発の前に遺跡の正確な記録を残すため、発掘調査を行います。



慎重に掘り下げます



写真を撮影し記録を残します



デジタル測量で住居跡や土器の位置を記録します



図面に記録を残します

整理・報告書刊行

発掘調査で発見されたさまざまな出土品と、記録された住居跡などの図面を整理し、報告書として刊行します。



細かな破片を接合します



土器の文様を墨で写しとります



遺物を実測して図にします



足りないところに石膏を入れて復元や補強をします



印刷用の図版を作成します

資料保存

発見された文化財のうち、そのままでは劣化してしまう木製品や金属製品の保存処理を行います。



金属製品のX線透過検査



金属製品のクリーニング



木製品の保存処理

資料活用・普及

埋蔵文化財の大切さや私たちの仕事を理解していただくため、見学会や展示会などのイベントを行っています。学校では、子供たちが実物にふれながら学ぶ授業を行っています。



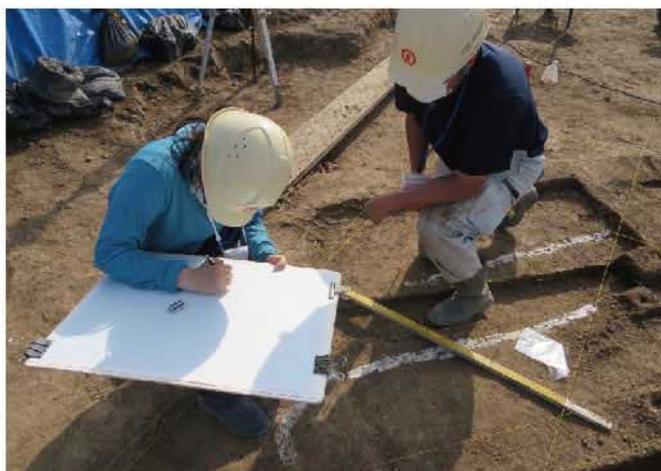
学校への出前授業「古代から教室へのメッセージ」



遺跡見学会



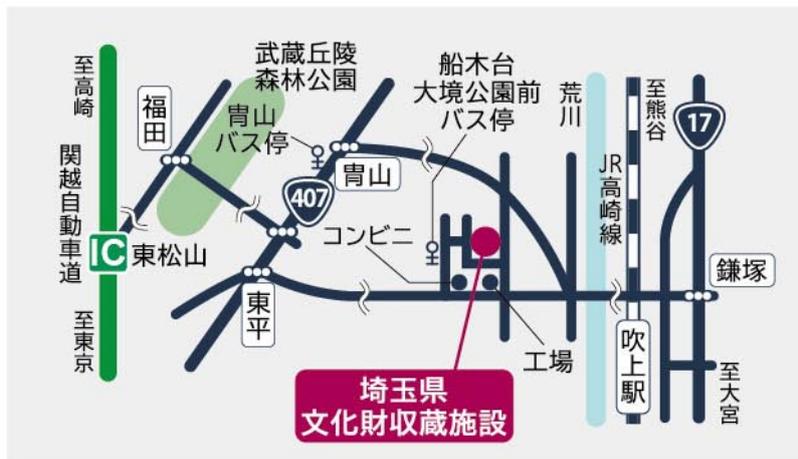
集客施設での展示会



インターンシップの実施

交通案内

JR 高崎線 熊谷駅北口 国際十王バス東松山駅行き「青山」下車、徒歩 25 分
南口 ひまわり号「船木台大境公園前」下車、徒歩 5 分
東武東上線 東松山駅東口 国際十王バス熊谷駅行き「青山」下車、徒歩 25 分
JR 高崎線 吹上駅から車 10 分
関越自動車道 東松山 IC から車 20 分



公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

〒369-0108 埼玉県熊谷市船木台 4 丁目 4 番地 1

TEL : 0493 (39) 3955 FAX : 0493 (39) 3579

ホームページ : <https://www.saimaibun.or.jp>

